

地球環境研究所 産学官民交流会

# 持続可能な社会づくりのための 環境マネジメントをめぐって

## 参加費無料

高校生・大学生  
大学院生・研究者  
一般の方 対象  
是非ご参加ください

# 11.12 *Mon*

**16:00 Open 17:00 Start**

**上智大学2号館 17階 1702 会議室**

お問合せ：上智大学地球環境研究所  
TEL 03-3238-4410

## ▶ プログラム \*詳細は裏面をご覧ください

17:00 ~ 17:20  
中国乾燥地域の水環境問題及び総合管理対策  
黄 光偉 (上智大学 地球環境研究所所長)

17:20 ~ 17:40  
持続可能な社会づくりに向けて  
企業が果たす役割  
小林 剛士  
( (株)堀場製作所 環境・プロセス事業戦略室  
事業企画チームマネージャー)

17:40 ~ 18:00  
持続可能な社会づくりに向けての  
環境省の取り組み  
井上直己 (上智大学准教授・  
元環境省大臣官房環境影響評価課 課長補佐)

18:00 ~ 18:40  
パーマカルチャーの紹介及び実践  
設楽清和  
(NPO 法人パーマカルチャーセンタージャパン代表)

18:40 ~ 19:00 総合討論



## Sophia Open Research Weeks 2018

11/9 fri. — 23 fri. Sophia University's Yotsuya Campus





## 小林 剛士

(株)堀場製作所 (<http://www.horiba.com/jp/>)  
環境・プロセス事業戦略室  
事業企画チームマネージャー

HORIBAの環境・プロセスセグメントは、地球環境の保全と産業のプロセスにおける計測のトータルソリューション技術を提供しています。大気・水・土壌計測に幅広く対応し、世界各国の環境規制に対応する計測技術を提供しています。新エネルギー産業の発展、環境保全に貢献し、安心・安全の確保と人類の健康を支えています。

今回の講演会では、持続可能な社会づくりに向けて企業が果たす役割や堀場製作所の環境への取り組みを紹介します。

## 設楽 清和

NPO法人パーマカルチャーセンタージャパン  
(<http://pccj.jp/>) 代表  
上智大学出身

パーマカルチャーとは、パーマネント（永続性）と農業（アグリカルチャー）、そして文化（カルチャー）を組み合わせた言葉で、持続可能な農業をもとに持続可能な文化、即ち、人と自然が共に豊かになるような関係を築いていくためのデザイン手法です。

今回の講演会では、パーマカルチャーの価値観、原則、実践分野などを紹介し、持続可能な農業を基盤としながら、環境マネジメント、地域社会のあり方を講演します。

## 講演者のご紹介

### 井上直己

上智大学地球環境学研究科 准教授  
地球環境研究所 所員  
元環境省大臣官房環境影響評価課 課長補佐  
東京大学法学部卒。環境政策修士 (Mphil in Environmental Policy; 英国ケンブリッジ大学)、  
環境開発修士 (MA in Environment, Development and Policy; 英国サセックス大学)

環境行政・環境政策の形成に係る利害関係者との調整、合意形成、政策手法の選択、国際的課題に関する対応、国際協力プロジェクト作りについて、あるべき姿を模索しています。

今回の講演会では、環境影響評価の最新動向を含めた持続可能な社会づくりに向けての環境省の取り組みを紹介します。

### 黄 光偉

上智大学地球環境学研究科 教授  
地球環境研究所 所長  
中国復旦大学卒業、東京大学にて工学博士号取得。  
東京大学、金沢大学、新潟大学、政策研究大学院大学などを経て現職。

専門は流域科学とマネジメント。都市域の水害リスク解析、湖沼と河川の環境モニタリング、環境影響アセスメント、乾燥地域の水資源マネジメント、湿地の賢明な利用と保全、幅広く研究活動を行っています。

今回の講演会では、サステナビリティ視点から見た中国黒河流域の水環境問題及び流域総合管理対策を紹介します。